

## 山陰本線下山駅での信号トラブルにおける列車遅延の原因と対策について

8月20日（日）に山陰本線下山駅での信号トラブルにより列車の遅れを発生させた事象について、原因が判明しましたので、対策とあわせてお知らせいたします。ご利用のお客様にはご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げますとともに、再発防止に努めます。

### 1 発生日時

2023年8月20日（日） 12時32分頃

### 2 発生場所

山陰本線 下山駅 構内

### 3 概 況

12時32分頃、福知山指令所の指令員は、モニタ画面にて、下山駅構内の信号機に異常が発生している表示を認めました。

このため、山陰本線では、胡麻～綾部駅間で運転を見合わせていましたが、復旧作業が完了したため、14時05分に運転を再開しました。

### 4 列車影響

＜運 休＞ 計8本（上下各4本 部分運休含む）

＜遅 れ＞ 上り普通電車〔豊岡（10：16）発 園部（13：13）行〕が104分遅れたのを最大に、計5本（上り3本、下り2本）に104分～11分の遅れ

＜影響人員＞ 約700人

### 5 原 因

ポイント付近のレール内にあるゲージタイ※が緩んでおり、列車通過による振動で徐々に移動した結果、分岐器と接触して軌道短絡が発生し、信号が正しく現示されなくなったためです。

※ゲージタイ：レールの間隔を正常に維持するために用いる鋼製の部材

### 6 対 策

- ・ゲージタイの正常位置が視覚的にわかるようマーキング方法を変更します。
- ・ポイント付近のレールに関連する作業を実施する場合における、ゲージタイの締め付け確認を確実に実施します。